

社協ニュース

No.67

《発行》平成28年7月1日

《編集》七飯町社会福祉協議会
七飯町本町4丁目8-1 七飯町地域センター内
TEL 65-2067

ホームページ

<http://www.nanae-shakyo.com/>

離れていても今私たちにできること



平成28年
熊本地震

6月18日現在
2,679,901 円



◆ 七飯中学校 ◆



◆ 魚長大中山店前 ◆



◆ ディスコダンスサークルサルビア ◆



◆ アークス鳴川店前 ◆

「届けよう！ 励ましと温かい気持ちを被災地へ」

平成28年4月14日に発生した熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震以降、熊本県、大分県を中心に相次ぎ地震が発生し大きな被害が出ています。今も震度1以上の地震が続きその回数は1,500回を超え、被災者の方々は不安を募らせています。この「平成28年熊本地震」で亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被災された方々に対しましても心よりお見舞い申し上げます。七飯町共同募金委員会としても早々に、町内20ヶ所に義援金箱を設置、他に町内のスーパーの入り口にて、職員と共同募金助成団体で街頭募金を行いました。また、七飯町町内会連合会は、「東日本大震災」の時と同じように各町内会を通じて義援金の協力をお願いしております。更に、学校や各種団体からも「一日も早く元の生活に戻れるように、役立ててください。」と、温かいメッセージと共に七飯町共同募金委員会へ義援金が寄せられています。

皆様の熱い思いで寄せられた義援金は、北海道共同募金会を經由して全額被災された方々の生活再建のために届けられます。ご協力いただきました多くの皆様に感謝申し上げますと共に、被災地の皆様の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。



七飯町共同募金委員会
会長 大竹幸次郎

地域に根ざした

地域の皆さま方におかれましては、常日頃より当会の事業推進に多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

これまで社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的団体として、関係機関と連携のもと「安心・安全・福祉のまちづくり」をめざし事業を展開してまいりました。

そして今年3月、社会福祉法の一部が改正され今後の社会福祉法人は、今まで以上に経営組織の強化、事業運営の地

平成27年度 七飯町社会福祉協議会事業報告 (抜粋)

「平成27年度は、社会福祉協議会の根幹事業である地域福祉の推進を「七飯町要援護者支え合い事業」と新たな「ボランティアポイント事業」を中心に、町内会、行政をはじめ各種関係機関と連携を図り、地域福祉理念の共有と普及・ボランティアの発掘、育成、定着に努めてきました。

特に「ボランティアポイント事業」は、平成27年度、549名から登録をいただき、ボランティアへの理解が広がりつつあり、活動も幅広くきめ細やかに展開することができたと感じています。

また、昨年12月には、2回目となる「地域と共に考える研修会」を開催し、160名以上の参加をいただき、「未来へつなぐ町づくり」をテーマとし「災害・介護保険制度・北海道新幹線」について、それぞれの専門家から講演をいただきました。

介護部門は、年々認知症や精神疾患等の困難ケースが増えておりますが、各課長が中心となり関係機関と十分に連携を図りながら、これまでの知識と経験で柔軟に対応することができました。

また、それぞれの職員が各種研修会への積極的参加や自主努力を行い、毎年介護福祉士資格取得者が増えております。社協全職員69名のうち介護福祉士取得者は39名となり、個人としても組織としても質の向上をめざしました。

また、社協職員各部署が利用者の立場に立った「ぬくもりのあるサービス」の提供を心がけ、日々業務にあたりました。



バリアフリー教室



視覚障がい者への支援方法



地域と共に考える研修会



ヘルパー介護実習

平成27年度 資金収支決算 (一般会計拠点・介護会計拠点)

(自) 平成27年4月1日

(至) 平成28年3月31日

(単位：千円)

(単位：千円)

科目名	決算額
事業活動による収入	
介護保険事業収入	172,326
障害福祉サービス等事業収入	15,741
会費収入	4,876
寄付金収入	749
雑収入	794
経常経費補助金収入	14,346
助成金収入	272
受託金収入	21,415
事業収入	60
共同募金配分金収入	2,714
施設整備等による収入	2,100
その他の活動による収入	17,765
収入計	253,158

科目名	決算額
事業活動による支出	
人件費支出	172,992
事業費支出	12,635
事務費支出	29,319
共同募金配分金事業費支出	1,420
助成金支出	8,122
負担金支出	766
借入金利息支出	105
施設整備等による支出	9,149
その他の活動による支出	21,632
支出計	256,140
前期末支払資金残高	44,404
当期末支払資金残高	41,422

社協をめざして



社会福祉法人
七飯町社会福祉協議会
会長 大竹 幸次郎

域支援事業への対応準備など進めると同時に、新たな事業として低所得者に対する介護保険利用者負担軽減制度を実施いたします。

少子高齢社会による孤立、虐待、雇用問題など生活課題が顕在化している状況の中で、今後も様々な諸問題に対応するため皆さま方の声に耳を傾け、「地域に根ざした社協」をめざし活動してまいりますので、引き続きご指導ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成28年度 七飯町社会福祉協議会事業計画（基本方針）

認知症高齢者の増加や一人暮らし高齢者世帯の拡大、子育て支援や社会的孤立など深刻な福祉課題、さらに経済情勢や雇用環境の厳しさが起因する貧困を背景とする深刻な生活課題が顕在化しています。

昨年は生活困窮者自立支援制度、介護保険制度改正による新地域支援事業、子ども・子育て支援制度、障がい者福祉施策など新たな制度・施策をすすめる年となりました。

このような社会福祉分野の新たな動きに対応していくため、地域福祉の中核的な役割を担ってきた七飯町社会福祉協議会はこれまでの活動で培ってきた経験や手法を活かしながら、これから増加傾向にある社会的孤立から起因する新たな福祉課題、経済的な理由による生活困窮者への対応、日常生活において権利擁護を要するニーズ等は、関係機関や地域住民が連携して取り組む課題と言えます。

地域社会で起きている様々な生活課題や福祉課題は、既存の制度だけで解決できないものも多く、ニーズに応じて、多様で柔軟な支援やサービスを制度外も含めてつくりだしていく必要があり、七飯町社会福祉協議会は、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として地域の施設法人とともにこれまでの社会福祉の発展に寄与してきた知見を活かしつつ、改めて、現在の諸課題に対応し、「信頼され期待される七飯社協」を目指します。



平成28年度 資金収支予算（一般会計拠点・介護会計拠点）

(自) 平成28年4月1日
(単位：千円)

(至) 平成29年3月31日

(単位：千円)

科目名	予算額
事業活動による収入	
介護保険事業収入	168,168
障害福祉サービス等事業収入	15,614
会費収入	5,000
寄付金収入	652
雑収入	984
経常経費補助金収入	23,768
助成金収入	273
受託金収入	12,037
事業収入	350
共同募金配分金収入	2,707
その他の活動による収入	14,202
収入計	243,755

科目名	予算額
事業活動による支出	
人件費支出	175,716
事業費支出	14,841
事務費支出	33,578
共同募金配分金事業費支出	1,400
助成金支出	7,991
負担金支出	858
借入金利息支出	21
施設整備等による支出	4,250
その他の活動による支出	5,100
支出計	243,755



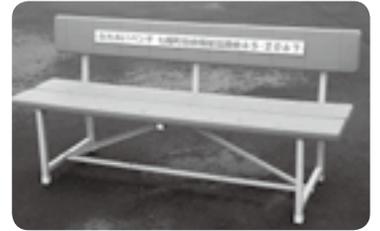
「みんなの地域のため、みんなで」

社会福祉協議会会員会費に御協力ありがとうございます。

会員の皆様には、日頃より社協の働きにご理解ご協力を頂き、感謝いたします。七飯町に住む方々が1人でも多く、福祉に関心を持って住みよい町住み続けたい町になるよう、私たちは活動を続けています。

そのためにも、皆さまからいただく会員会費はなくてはならない財源の一つであり、町内の皆さまのお役に立てるように活用しております。

今年は、北海道新幹線開業に伴いバス路線が変わりました。バスの利用者や買い物帰りにベンチを利用したいと町内会からの要望があり、新たに2台新設し、町内39台設置させていただいております。



また、緊急時、いざという時のための「緊急連絡カード」や「命のボタン」、昨年作成した「医療福祉サービスガイド」など日常生活に不安がある方へ無料で配布しております。

このように社協会員会費は、ふれあいベンチの設置や、緊急連絡カード、10人乗りワゴン車の貸出し、印刷機、チャイルドシートなど多種にわたり使われ、これも地域に住み続けている方々の、身近な活動を支えるものです。これからも七飯社協は、会員のみな様、地元企業や団体の協力を得て、子供からお年寄りまでみんなが住みやすい町を創り上げていきたいと考えています。

そのためには、一人でも多くの方に会員になっていただき、地域のためにお力を貸していただきたいと願っています。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



緊急連絡カード



命のボタン



サービスガイド



社協車輛「なかよし」

平成27年度 主な会員会費の使い道 (単位：千円)

内 容	金 額
町内会 (58 町内会)・各地区地域福祉推進会議へ助成	2,388
社協車輛なかよし号維持管理 (車輛保険・車検等) 昨年は利用者 2,634 名 (延べ 230 団体) が利用。	690
医療福祉サービスガイド 1,000 冊作成	272
社協ニュース作成 町内会活動の事例紹介	241
緊急連絡カード掲示用 500 枚と携帯用 1,000 枚作成	226
各種研修会等の講師、印刷、通信費等	145
ふれあいベンチ設置 2 台購入 町内 39 ヶ所設置	110
印刷機 マスター、トナー、修理代等 延べ 589 団体が利用	107
チャイルドシート・ジュニアシート 6 台購入 89 名へ無料貸出	47
その他 (ホームページ管理費等)	22



「赤い羽根共同募金」今年度で70周年

この赤い羽根共同募金がはじめてから70年がたちます。この助け合いの運動は、「何かの助けになりたい」という気持ちの歴史です。運動に携わった皆さまにお礼申し上げます。

2016年新幹線とりんごのピンバッジ

北海道と本州を結ぶ北海道新幹線が開通しました。わが北海道新幹線における唯一の総合車両基地が七飯町に建設されております。また、七飯町は西洋りんご発祥の地でもあり、今回のバッジは未来へ突き進む新幹線をイメージしています。どうぞ、募金にご協力ください。500円の募金でバッジを進呈します。取り扱いは社協、役場、国際交流プラザ、ポップ爺、その他イベント会場にてお待ちしております。



出し合い、みんなのために活用



会員会費 Q & A

Q1 会員になればどんなメリットがありますか？

A1 会員会費制度は「お互いの支え合い」精神に基づくもので、直接その方へのメリットはありません。しかし、皆さんが会員となることで、その会費をもとに福祉のまちづくりの推進と一緒に支え、同じ地域に住む方に有効に活用されています。

Q3 町内会長、民生委員等の方は、個別会員なの？

A3 町内会長さん等は、それぞれの代表であり、率先して会費を納めていただき地域福祉をより充実した活動となることを願い個別会員とさせていただきます。

町内会長はじめ役員、班長さんには、全世帯加入をめざして、活動いただいておりますことを心より感謝いたします。

Q2 会費は強制なの？

A2 いいえ、強制ではありません。会費は社協事業に賛同してくださる方に納めていただく任意のものです。

Q4 なぜ町内会が集めるの？

A4 社会福祉協議会は、町内会や民生委員の代表、さらに老人クラブやボランティアの代表など、地域のあらゆる代表者の方々に理事、評議員になっていただき、その中で事業活動や予算、運営について協議をしております。社協会員会費は、地域福祉の貴重な財源であり、「地域自らの手で実現」を目標に全世帯加入をめざしているため、福祉の根幹である町内会に会員会費の取りまとめをお願いしています。そして、会費の総額の4割を町内会へ補助し、町内会の福祉活動の一部に活用されています。

町内会

本町中通り町内会
本町下通り町内会
七飯町中央親交会
本町和町内会
南本町町内会
本町西部町内会
正覚寺通り町内会
本町寿町内会
本町駅前町内会
本町三百睡会町内会

桜団地町内会
見晴町内会
本町上台団地町内会
本町上台町内会
南本町第一町内会
本町町内会
本町中央町内会
本町高台町内会
公宮桜団地町内会
光陽団地町内会

西部鳴川町内会
鳴川中央町内会
鳴川協和町内会
飯田町第1町内会
緑町町内会
桜町第1町内会
桜町第2町内会
桜町第3町内会
桜町第4町内会
南藤城町内会

上藤城町内会
青葉台町内会
藤城町内会
峠下連合町内会
鳴川高台団地町内会
大中山高見町内会
上大中山町内会
大川町内会
大中山中央町内会
上湯出川町内会

湯出川団地町内会
大中山湯出川町内会
北大川町内会
東大川町内会
蒜沢町内会
松の木町内会
大川十字街町内会
大川美園町内会
中野町内会
中島町内会

豊田町内会
大沼公園親和会
大沼親交会
大沼第1町内会
吉野山町内会
川尻親交会
軍川親交連合会
西大沼町内会
太陽実行組合

特別会員

見晴公園歯科・矯正歯科クリニック
くどう眼科クリニック
松倉整形外科クリニック

宮村内科医院
福島神経クリニック
はるこどもクリニック

佐藤歯科クリニック
みよしデンタルクリニック
鍋谷歯科医院

ひよこクリニック
美村獣医医院
かねたか歯科医院

団体会員

八千代工業(株)北本事務所
(有)ワールド薬局
すこやか調剤薬局
(株)藤田板金工業
(有)マルタツ庭食品
新函館農業協同組合七飯支店
藤建設工業(株)
つば八ななえ店
松栄建設(株)
函館信用金庫七飯支店
ハーモニーハイツ ななえ福)
道南福祉なっと ToMoハウス福)
道南福祉なっと 明日へ福)
道南福祉なっと なのか(株)順工務店
(株)ツルハドラッグ七飯店
(株)加藤栄好堂
(有)菓子舗喜夢良
老健施設あかまつの里ななえ正覚寺
はっぴー共生型ほーむ
ウェルネス薬局七飯店
函館脳神経外科七飯クリニック
七飯町森林組合

七飯町商工会
(有)石田時計店
七飯福音キリスト教会
一般社団法人 匠和
北海道旅客鉄道(株)七飯駅
(株)八晃建設
(株)博善社七飯店
聖樹の社
(有)北海道新聞原子販売所
(有)松田電設
(株)林商店
(株)久慈製作所
ただ調剤薬局
(有)ヤマキ小林
ケアハウス豊寿
ななえ新病院
七飯パークゴルフ協会
(有)田中清掃
(有)秋田建築板金
(株)ハルキ函館営業所
(有)みどり興産
(有)七飯花自動車商会
山崎鉄工所
明林寺

(株)七飯砕石工業
あかまつ調剤薬局
(有)松田砕石
(株)工房 蕎麦小屋
(株)シンオシマ
大竹運送(株)
(株)相互建設
築城園芸
(株)大清水産業
医)立青会 なるかわ病院
(有)古館自動車サービスセンター
ヤマトタカハシ(株)北海道昆布館
大中山神社運営委員会
富原商店
アーク大隅(株)
七飯アサノ生コンクリート(株)
中水食品工業(株)
(株)天狗堂宝船
湊商事(株)七飯給油所
そば処ふでむら大中山店
デイサービス北陽
(有)大塚自工
(株)グリーンオオモリ
(株)マルエイ柴田土建

(株)小松工業
鳴川運送(株)
福)渡島養護老人ホーム好日園
東栄興業(株)
七飯南幼稚園
(株)石岡工業
(有)ななえ印刷
(有)かけがわ不動産
創和社 サ高住 小華苑
七飯レクリエーション協会
デイサービス 小さな樹
水島道路(株)
(株)中川石油
望ヶ丘医院
カワマタビルド(株)
オーシャンコーヒー(株)
(有)金見電器
丸山内科医院
(有)三木電気
久保田牧場
(有)毎日環境サービス
(株)沼の家
夢屋
(有)山川牧場自然牛乳

(株)鈴木事業所
(株)ワタナベ電器
(有)金子電気
昭和寺
創価学会
大信寺
源雄寺
宮崎鯉屋
大沼合同遊船(株)
野畔の花
景雲寺
(有)小泉組
(株)財津自工
(株)フレンドリーベア
(株)羽衣運輸
若松毛皮(有)
どさんこミュゼ(株)
三嶋神社
(有)かわじり生花店
(有)花彦
ポロト館
アイニーゆっくり大沼
セブンイレブン七飯本町店

ボランティア

ボランティアセンター通信『ひまわり』春号発行しました!!

ボランティアセンターでは、一人でも多くの町民にボランティアを身近に感じてもらう為、ボランティア情報誌を作成しました。ボランティア活動するとポイントが貯まるボランティアポイント事業の説明や、七飯町で活躍する主なボランティア団体の紹介などの内容となっており、情報誌を読んだ方から団体への問い合わせや、早速窓口にいらしてボランティア登録された方もいらっしゃいます!

※情報誌『ひまわり』は、七飯町社会福祉協議会の他、文化センター・大中山コモン・大沼婦人会館にも置いてありますので、ぜひ一度手に取ってご覧ください。



学生ボランティア体験入門 平成28年1月30日(土) 見晴会館

この活動は、地域の高齢者とふれあうことで、地域福祉やボランティアについて関心を深めることを目的に、本町町内会のご協力のもと、今年で2回目の実施となりました。

町内見晴会館に集った七飯高校女子バレー部の生徒さん11人は、絵手紙サークル『花みずきの会』の指導を受けながら、「これからもお元気で」などの思い思いの気持ちを絵手紙に描き、高齢者宅を訪問し、健康を祈って用意した恵方巻と絵手紙を笑顔で手渡しました。



絵手紙作りに挑戦



長寿を願って

第5回 ななえチッコ雪まつり 平成28年2月21日(日) あかまつ総合公園

会場整地などの準備は、日中、夜間、時には吹雪の中の作業となり、参加して下さったボランティアさんには頭が下がる思いでした。前日の雨で開催も危ぶまれましたが皆さんの祈りが通じたのか晴天で迎える事が出来ました。

当日は、スタッフボランティアの他に、七飯レクリエーション協会の皆さんがゲームなどで盛り上げてくれました。



ジャンボすべり台



ゲームで盛りあがりしました

ふれあいベンチ ペンキ塗り・設置事業 平成28年4月5日(火) 地域センター

毎年恒例になった「ふれあいベンチ」のペンキ塗りを実施しました。集まったボランティアさんは「今年もうまくできたから気持ちよく座ってほしいな」と綺麗になったベンチを眺めていました。

町内に設置する際も、ボランティアさんが駆けつけ協力してくれました。

ふれあいベンチ設置事業は、ボランティアさんや地域の皆さまのご協力のお陰で20年以上も継続することができています。これからも皆様の憩いの場として未永く使用していただけたら幸いです。



ふれあいベンチ



気持ちをこめて塗りました。

ボランティア掲示板を設置しました

地域センターの玄関正面にボランティア掲示板を設置しました。掲示板にはボランティア情報誌やボランティア団体の紹介の他に、朗読ボランティアあゆみの会の会員さんが作成した音で聴く広報誌などが用意されております。

またボランティア募集の告知や報告も随時掲示いたしますので、興味のある方はお立ち寄りください。

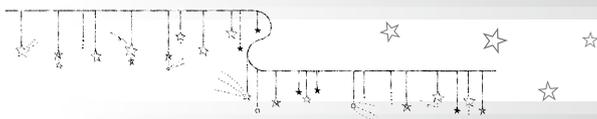


ボランティア情報がたくさん!



一度CDを聴いてみませんか?

の 広 場



ボランティア研修交流会



2月22日(月) 大中山コモン

七飯町ボランティア連絡協議会では個人ボランティアやボランティア団体で活動されている方々の交流の場として研修交流会を開催しております。

今回は、自分の体力の現状を知り、いつまでも心身ともに元気で過ごせるよう握力・上体起こし・6分間歩行等6種目の体力測定を実施しました。

健康診断で自分の健康状態を知ることがあたりまえであっても自分の体力が同年代の方と比べてどうなのか？初めて体力測定をするという方も多く、不安げな表情で始まった体力測定。

この日参加した個人・団体合わせて75名のボランティアさんから、6種目の総合評価がA～Eの5段階で判定されると『老化を自覚した』『自分の体力がわかったので良かった』『皆さんと一緒に運動できて楽しかった』等の声が多数聞かれました。

その後、お弁当をいただきながら、それぞれ日頃の情報交換や世間話に花を咲かせ、午後は、個人団体入り混じったチーム対抗ゲーム大会で交流を深め、研修交流会を終えました。



ゲームで盛り上がるボランティアさん



何周歩けるかな？6分間歩行



柔軟性長座体前屈



上体起こしで腹筋力の測定



総勢75名参加



買い物ボランティア始めました。

平成28年5月20日(金)・6月14日(火)

買い物ボランティアは買い物に行くのが困難に感じている人を対象とし、運転ボランティアさんに同行してもらうボランティア活動です。

5月は藤城地区の7町内会、6月には藤城地区と本町地区の一部の町内会を対象に町内のスーパーで買い物をしました。

始まったばかりで、参加者はまだ数名ですが、今後、皆様の意見を取り入れ活動の輪を広げたいと思います。



『地域サロン認知症カフェ まつぼっくりの会』のご案内

NPO法人 地域介護医療支援機構「NAOみちくさ」では、介護や医療等をテーマに専門家の話を聞き、そのテーマについて気軽に皆さんと語り合うことのできる場として、月1回サロンを開催しています。

又、認知症にかかわる様々な課題について学び、介護の悩みや体験談を共有する場『認知症カフェ』を7月より開催します。

◇地域サロン 7月9日(土) 午後1時～午後2時

テーマ「介護のテクニック」その2

講師 老人保健施設 あかまつの里 作業療法士・理学療法士
～家庭での介護に役立つプロのテクニックを教えてください～

◇認知症カフェ 7月30日(土) 午後3時～午後5時

テーマ「現在の成年後見制度について」

講師 元函館家庭裁判所 首席家裁調査官 細田 隆 氏
会費 ￥200 (お菓子・資料代)

～認知症の方の資産管理や、様々な課題をお話ししていただきます～

場 所 天然温泉 ゆうひの館 (本町4丁目6番1号)
主 催 NPO法人地域介護医療支援機構 NAOみちくさ
TEL 64-1126
後 援 七飯町/七飯町社会福祉協議会

ボランティア研修会のご案内

テーマ 終活について考える
～人生の後半戦を楽しむ準備をしませんか？～

終活とは一般的に

「人生の終わりをより良く締めくくるための準備」

「より良く自分らしく生きていくための活動」

「大切な家族のために、そして自分のために『ありがとう』を伝える活動」を指します。自分に何かあったとき、遺された家族への愛情、思いやり、感謝の気持ちの表れです。そのようなことを考え、備えつつ、「終活を楽しむ」「あらたな人生を考える」今、そんな考え方が広がっています。

日 時 7月21日(木) 午後2時～午後4時 (予定)

場 所 文化センター スターホール

講 師 終活カウンセラー 榎木 泰子 氏

参加者 どなたでも参加できます。/参加費 無料

申 込 七飯町ボランティアセンター (七飯町社会福祉協議会)

T E L 65-4903

締 切 7月11日(月)まで

地域要援護者支え合い事業

町内会で様々な活動が活発に展開されています。昨年度この事業実績では 50 町内会が地域の実情にあった取り組みをしていました。その一部を紹介いたします。

大川美園町内会



新幹線新函館北斗駅見学や日帰り温泉などの外出支援活動

大中山中央町内会



要援護者宅へお弁当を届け「お元気ですか？」と声掛けする見守り訪問活動

大中山湯出川町内会



みんなで楽しく塗り絵や茶話会を通して交流を図るサロン活動

本町駅前町内会



介護健康教室「認知症について」の勉強会を実施後健康ゲームで楽しみながら交流

本町上台団地町内会



会館で週 1 回気軽にカラオケを楽しむ趣味活動

南本町町内会



機械を利用して除雪困難者の玄関から公道まで歩く範囲の除雪支援活動

鳴川中央町内会



健康維持のためパークゴルフ・軽体操を定期的実施して親睦を深める活動

湯出川団地町内会



大中山コモンにてクリスマス会を開催して交流

西部鳴川町内会



会館にてトランプや花札をしてお茶を飲み、お話ししながらふれあいサロンを実施



お知らせ!

平成 28 年度の当事業の申請は 4 月中旬から受付を開始し、6 月 1 日の時点では 49 町内会から申請をいただきました。

今年度は見守り活動や健康づくりなどの申請が増えており、地域のつながりの強化や健康意識の高まりが見てとられました。まだ申請されていない町内会や追加申請を検討されている場合は、町へ提出する都合上、10 月 17 日（月）までに社協窓口へ提出をして下さい。

除雪機貸出事業

昨年度は 9 町内会より申請があり、16 台を貸し出しました。中でも大きいハイブリッドの除雪機に人気が集まり、「手作業と機械を併用して効率よく使い大変助かった。また来年もお願いしたい。」といった声も聞かれ、有効に活用されました。

生活福祉資金貸付のご案内

生活福祉資金貸付制度とは、厚生労働省の要綱に基づき、他の貸付制度が利用できない低所得世帯、障害者世帯または高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談・支援により経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を目指すことを目的としています。

生活福祉資金を受けるには

1. まず、相談して下さい

生活福祉資金の貸し付けを希望する方は社会福祉協議会にご相談下さい。

生活福祉資金貸付制度では、貸し付けを通じた経済的支援と併せて、貸し付けを受けた世帯が生活を安定させ、立て直しが出来るようさまざまなお手伝いをします。

2. 借入申込書を提出する

資金の貸付を申し込むには、借入申込書と必要な書類をそろえ、社会福祉協議会に提出することが必要です。また、借り入れには、資金の種類によって連帯保証人が必要です。

貸し付けについては北海道社会福祉協議会で審査を行ないます。審査結果によっては、資金の貸し付けが出来ない場合もあります。審査の結果は、本人に文書で通知されます。

3. 借用書を提出する

資金の貸し付けが決定したら、借用書に必要な事項を記入し、本人と連帯保証人の署名・押印（実印）のうえ、印鑑登録証明書とともに、北海道社会福祉協議会に提出します。

生活福祉資金貸付制度について詳しく知りたい、利用について相談したい場合には、社会福祉協議会にお問い合わせください。

資金の種類		資金の目的
1. 福祉資金	福祉費	生業を営む為に必要な経費、病気療養に必要な経費、住宅の増改築や補修などに必要な経費、福祉用具等の購入経費、介護サービスや障害者サービスを受けるために必要な経費など
	緊急小口資金	緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に貸し付ける少額の費用
2. 教育支援資金	教育支援費	低所得世帯の子どもが高校や高専、大学などに修学するために必要な経費
	修学支度費	低所得世帯の子どもが高校や高専、大学などに入学するために必要な経費
3. 不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	低所得の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金
	要保護向け不動産担保型生活資金	要保護の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金
4. 総合支援資金	生活支援費	生活再建までの間に必要な生活費用
	住宅入居費	敷金、礼金等住宅の賃貸契約を結ぶために必要な費用
	一時生活再建費	生活を再建するために一時的に必要なかつ日常生活費でまかなうことが困難である費用

『おしまHOT(ほっと)かないセンター』が移転しました。

平成28年4月1日から、自立相談支援センターおしま『おしまHOT(ほっと)かないセンター』は下記の住所に移転しました。



センター
イメージキャラクター
「ほっとちゃん」

北海道社会福祉協議会・自立相談支援センターおしま
『おしまHOT(ほっと)かないセンター』
〒041-8558 函館市美原4丁目6-16 渡島合同庁舎2階
電話：0138-47-3013 FAX：0138-34-6966
メール：hot-oshima@dosityakyo.or.jp
相談受付：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

おしまHOT(ほっと)かないセンターは …… そんな、あなたのためのHOT(ほっと)できる場
あなたのことを…HOT(ほっと)かない …… HOT(暖かい・ぬくもりのある)できる関わりを
そうして、わたしのことを…HOT(ほっと)かないで …… 目指したセンターです。

お困りごとへの相談など問題解決に向け支援します。

多くの寄贈品ありがとうございました

(敬称は省略させていただきます)

使用済み切手、使用済みテレホンカード、

リングブル、書き損じはがきなどが有効に活用させていただきます。

大久保電気、岩谷日出子、藤城保育園、山本石材店、なるかわ病院、中矢幹夫、高橋大貴・高橋遥奈、大中山コモン、ゆうひの館、大沼保育園、濱田順子、ボランティアサークル金曜会、あゆみの会、小松正美、熊谷功、大中山小学校、次六恵美子、スポーツセンター、横山義則、しおん会、安藤廣、七飯更生保護女性会、大中山ディスコ愛好会・渡辺雅照、みどり保育園、長山頭、パソコンサークル、あかまつの里ななえ通所リハビリテーションセンター、ボランティア倶楽部、羽衣会、小間誠、ケアハウス豊寿、南幼稚園、岩本美智子、函館トヨタ自動車株式会社、ネットトヨタ道南株式会社、フェニックスコート、斉藤洋子、住宅型老人ホームおおかわ、工藤久恵、三浦友和、江口シズエ、豊川慶子、チーフ学園、津村早苗、須藤明美、サービス付高齢者住宅創和社小華苑、七飯養護学校、岡川志穂・翔、中矢アヤ子、古木節子、あずましの里、吉田雪子、伏見有希、原久子、介護者と共に歩む会

福祉機器のご寄付

山本 信子様 福祉機器
齊藤美代子様 福祉用品
(手編み靴下 50 足)

(平成28年1月22日から平成28年6月14日現在)

老人クラブ女性部 雑巾配り



6月9日(休)、老人クラブ女性部の皆さんが一生懸命縫っていただいた雑巾を福祉施設や学校、保育所に届けました。

最近では雑巾を縫う人も徐々に減ってきておりますが、使う人たちの笑顔と喜ぶ声を思い浮かべながら雑巾の枚数を減らさないよう皆さんが真心をこめて縫っているの、今年も多くの雑巾を各施設に届けることができました。

大沼学園さん今年もありがとうございます

今年も大沼学園さんから、花の苗を200株頂きました。綺麗に揃った色とりどりのマリーゴールドが皆さんを出迎えておりますので、地域センターの近くを通った際にはぜひ見に来て下さい。



温かいご寄付ありがとうございました

皆様からの心の善意が今年1月から6月9日まで、総額329,900円となりました。ご寄付いただいた皆様、本当にありがとうございました。



平成28年

- 1月27日 七飯ロータリークラブ 様
- 1月29日 匿名 様
- 2月22日 光現寺 寒修行者一同 様
- 2月19日 函館方面遊技業協同組合 様
- 3月1日 志鎌ヨシ 様
- 3月28日 古木節子 様 / 3月28日 仁司治美 様
- 4月4日 七飯レクリエーション協会 様
- 6月2日 匿名 様 / 6月6日 匿名 様 / 6月9日 匿名 様

介護保険利用者負担軽減制度を実施します。

介護保険制度は、サービス利用時、自己負担として1割（2割）の利用料を負担しますが、中には低所得等によりサービスを利用できない、また利用回数を制限している世帯があると思われます。

七飯町社会福祉協議会では、社会福祉法人として社会的役割に鑑み、運営主体になっている事業所をご利用されている世帯で下記の該当となった場合、利用者負担額を軽減する制度を平成28年7月から実施します。



対象者

町民税非課税世帯者であって、次の要件を全て満たしている方のうち、その方の収入や世帯状況、利用者負担等を総合的に勘案し、生計が困難であると会長が認めた方と、生活保護受給者が対象です。

- ①年間収入が単身世帯で150万円、世帯員が1人増えるごとに50万円を加算した額以下であること
- ②預貯金等の額が単身世帯で350万円、世帯員が1人増えるごとに100万円を加算した額であること
- ③日常生活に供する資産以外に活動できる資産がないこと
- ④負担能力のある親族等に、扶養させていないこと
- ⑤介護保険料を滞納していないこと



対象事業所

ホームヘルプステーション「七飯社協」七飯町字中野210-2 TEL：65-4902
七飯町デイサービスセンター「なかの苑」七飯町字中野210-2 TEL：65-1002

対象サービス

訪問介護 介護予防訪問介護
通所介護 介護予防通所介護

軽減の割合

利用者負担及び食費の4分の1（老齢福祉年金受給者は2分の1）
生活保護受給者は利用負担及び食費の全額

軽減制度を利用するには、申請の手続きが必要です。

申請者

七飯社協へ（事業所でも可）

ヘルパーやデイの利用



申請書等



要件に該当する場合は社協に申請書等を提出

審査を行い、該当者には「確認書」を交付します

事業所に「確認書」を提示して、利用料の軽減を受けます。

申請に必要な書類等

1. 社会福祉法人七飯町社会福祉協議会利用者負担額軽減対象者確認申請書
2. 町民税非課税証明書
3. 収入等の添付書類・・・申請者及びその属する世帯全員の収入について申告していただく必要があります。
 - (1) 所得証明書の写し（前年の1月から12月までの収入）
 - (2) 預金通帳の写し（過去1年分を添付してください）
 - (3) 住民票（世帯全員分）
 - (4) 介護保険証
4. 資産及び扶養の有無に関する申告

自らの住まい等、日常生活に供する資産以外に住居や土地など、収入を補うために活用できる資産がないこと。
負担能力のある親族等に扶養されていないこと
町民税の控除対象者は、原則的に負担能力のある親族等に扶養されているとみなされます。

